

自然との対話明日への糧となる

竹本 タエ子

松茸のセロハン越しに匂い嗅ぐ

今川 昇

聞きたがる童話に夫はうとうと

田中 たづ子

大空に命を燃やす銀杏かな

藤井 節子

入選久し振りお膳に鯛刺し

佐藤 哲夫

しぜんとのたいわあすへのかてとなる

たけもと たえこ

まつたけのせろはんごしににおいかぐ

いまがわ のぼる

ききたがるどうわにつまはうとうと

たなか たづこ

おおぞらにいのちをもやすいちようかな

ふじい せつこ

にゆうせんひさしぶりおぜんにたいさし

さとう てつお

小春日や日帰りバスの高軒

馬場 精作

二枚きりの祖母の写真やちゃんちゃんこ

林 保江

山越へし術後五年や冬薔薇

金内 憲一

茶髪の子ビシッと決めて神輿担ぐ

椎木 道子

笑ひ合ふ老ひの昼餉や秋一日

貞弘 和子

こはるびやひがえりばすのたかいびき

ばば せいさく

にまいきりのそばのしゃしんやちゃんちゃんこ

はやし やすえ

やまこえしじゅつごごねんやふゆそうび

かねうち けんいち

ちゃぱつのこびしっときめてみこしかつぐ

しいぎ みちこ

わらいあうおいのひるげやあきひとひ

さだひろ かずこ

月に一度飲めぬ母娘がノンアルで  
女子会開く家事休養日

賤間 星

凧に逆らいながら掃く落葉  
今は誰をも信じられない

山口 正子

草を抜き明日の目安に置く畝に  
花色残すつゆ草ひとつ

河野 美津子

遠き日に父に抱かれしゆりかごの  
腕のぬくもり心の底に

河野 敬子

熱燗で気を紛わす独り居の  
夕餉の膳にほろり酔けり

川本 禮子

つきにいちどのめぬおやこがのんあるで  
じょしかいひらくかじきゆうようび

ざいま せい

こがらしにさからいながらはくおちば  
いまはだれをもしんじられない

やまぐち まさこ

くさをぬきあすのめやすにおくうねに  
はないろのこすつゆくさひとつ

かわの みつこ

とおきひにちちにだかれしゆりかごの  
うでのぬくもりこころのそこに

かわの としこ

あつかんできをまぎらわすひとりいの  
ゆうげのぜんにほろりよいけり

かわもと れいこ

まっすぐ行くため回り道をする

田中 里美

あの人と結ばれた不可思議を思う

田中 久代

山の衣がえ万華鏡

田中 律子

ラジオ体操 朝のルーティン

林 陽子

心の中のふるさと 能登三景の絵

吉野 俊夫

まっすぐいくためまわりみちをする

たなか さとみ

あの一ととおすばれたふかしぎをおもう

たなか ひさよ

やまのころもがえまんげきょう

たなか りつこ

らじおたいそう あさのるーていん

はやし ようこ

こころのなかのふるさと のとさんけいのえ

よしの としお